

# 先生自身が知っておくべき「情報モラル」

情報モラルを児童生徒に指導するためには、先生自身が情報モラルの知識を持っている必要があります。ここでは、情報モラルを指導するためには、どのような内容についてつかんでおけばよいのかを解説します。

## ① インターネットの世界で起きていることに関する知識

先生自身に「情報モラル教育が重要である」という認識がなければ、いくら情報モラルの授業を行っても上滑りの教育・指導になってしまいます。インターネットの世界で起きていることを把握し、自分が担当している児童生徒が将来、インターネット上の問題に直面しないように、また、直面しても児童生徒が身体や心に大きな傷を受けることなく対応できるように指導することの重要性を認識することが最初でしょう。

そのためには、まず、**次のようなサイトが存在することを知り**、インターネットを児童生徒に利用させる上で、大人が注意すべきことを考えることが必要です。

自分の学校のことが書かれている匿名掲示板、  
小中学生が運営しているブログ、  
プロフィール紹介サイト（プロフ）、  
出会い系サイト、アダルトサイトなど

また、新聞記事データベース等を利用して、児童生徒が事件に巻き込まれた事例も把握しておく必要があるでしょう。よく、自分の学校の児童生徒は大丈夫であるという先生がいますが、いつでもどこでも、誰とでもつながるのがネットの特性であることを忘れてはいけません。「大丈夫」というからには、そのようにいえるような指導をする必要があります。児童生徒が学校の外で、携帯電話やインターネットをどのように使っているかについても調査をするといいいでしょう。

なお、先生が左記のようなサイトを閲覧することは不謹慎だという方もいますが、先生が危険性を知らなければ、児童生徒を守ることはできません。遠足や修学旅行など校外に児童生徒を引率する際に、先生が下見をして危険箇所を把握し、事前学習で指導することと同様です。現状を知らないまま、「大丈夫」と考えてしまうことほど、危険なことはありません。**状況把握をしっかりと行うこと**が、情報モラル指導の第一歩です。

## ② 情報モラルの教材・授業実践事例の情報に関する知識

現在、情報モラルの教材には、無料で利用できる教材、市販されている教材があります。また、ビデオクリップや指導案形式による授業実践事例の資料も公開されています。

複数の教材を自分の目で確かめて、使いやすい教材を選択するとよいでしょう。**教材の比較検討の作業自体が、情報モラル教育の教材研究になる**はずです。先

進的な取り組みをしている先生の授業実践事例を参考にすることは、授業構想の負担を軽くするだけでなく、質の高い授業を行うことにも役立ちます。

また、保護者向けの啓発活動で使用可能な教材、パンフレットも確認しておくといいいでしょう。

次ページにインターネット上で無料公開されている教材・授業実践事例に関する情報の例を紹介します。